

株式会社アルバック 職種のご紹介

若手社員が活躍している主な職種をご紹介します。

アルバック採用ホームページもあわせてご覧ください。さまざまな職種で活躍する社員の様子が分かります。

[職種と人](#) / [社員の一日](#) / [若手社員座談会](#)

マイナビ 仕事・働き方を知る特集「理系の選択」には、アルバックで活躍する女性設計技術者の記事が掲載されています。こちらもぜひご覧ください。 [マイナビ理系の選択](#)

※ 応募時提出書類「応募用シート」には、ご希望の職種や興味のある職種を選択する欄があります。

研究開発	(技術系)
研究開発の仕事は、「要素開発」と「プロセス開発」の2つがあります。「要素開発」では、世の中で必要とされる新たな技術や、真空技術の発展を支える基盤技術を追求しています。中には10年以上先を見越してゼロから開発を行う研究もあり、未来社会のニーズを予測した研究テーマを見つけ、技術開発しています。「プロセス開発」は、お客様の求める最終製品ができるように装置を開発します。装置開発には、技術、プロセス、材料などのさまざまな角度から課題を解決することが求められます。お客様とコミュニケーションをとりながら、試作や実験、データの解析を重ね、装置の完成を目指します。どちらも自ら研究開発をした技術で、未来社会を切り拓いていく仕事です。	
技術	(技術系)
お客様が必要としている装置がどんなものなのか、安全、機能、環境、コストなどさまざまな視点で要望や問題点をクリアにし、真空装置を開発、提案、提供するのが技術の仕事です。その過程にはプロセスの検討、仕様の決定、見積り作成なども含まれます。装置の仕様や見積りについてお客様に説明することはもちろん、社内に向けて検査基準の設定、最終的な検証方法の指示などを行い、いわば司令塔のような役割を担っています。お客様のイメージする要望をカタチにするために、お客様や社内のメンバーと共に一つの目標に向かって開発ができる仕事です。	
機械設計	(技術系)
機械設計は、装置の仕様をもとに、CADを使いカタチにしていきます。開発用装置をつくることのできるアルバックでは、はじめの構想設計は設計がメインになり、技術や営業とともにいきます。お客様の希望やアルバックとしての新技術の提案などを議論し、最終的にこれらを実際に装置の構想としてまとめ上げるのが設計者の仕事です。構想がまとまったら次は排気計算、構造計算、シミュレーションなど、装置の性能を計算し、CADで図面を作成していきます。描き上げる図面は、装置全体だけでなく、部品にも及びます。どんな材料や部品を使うかなどのコスト面や組み立て方法なども視野に入れる必要があります。装置をつくり出すには、常に新しい技術を吸収していかなばなりません。新しいことにチャレンジし、ものづくりに大きなやりがいを見出すことができる仕事です。	
電気設計	(技術系)
電気設計は、装置に電源を入れるための回路や、装置全体を自動で制御するための回路などをCADを使って設計します。バルブやポンプ、センサ、スイッチなど、装置の中で電気を使って動かすもの全ての回路を担当しますので、装置の構造や動きを理解し、適切に制御するための方法を考えて設計を進めなければなりません。開発要素も多く、機械設計、ソフト設計、製造・検査などの関係部署のエンジニアと相談しながら、装置の構造や動きを理解し、適切に制御するにはどうすればよいかを考えていきます。電気設計の面白さは、自分が設計した制御回路が意図した通りに動くところを確認できること。これは部品だけではなく、装置を作るメーカーならではの醍醐味です。自分が設計した最先端の装置で新しい製品が生み出されることは大きな喜びとなります。	

ソフト設計

(技術系)

装置の骨格である機械と筋肉神経である電気を結び付け、装置に魂を入れるのがソフト設計の仕事です。例えば、自動化された FPD 等の製造装置の場合は、工場の上位システムからの指令をスタートに、基板を受け取り⇒装置を真空状態にし⇒ロボット等の搬送機構で基板を所定位置に移動⇒所定のプロセス処理を実行⇒次工程に基板を渡すまでの制御を全て行います。開発時の実機立ち上げ時は、設計時に想定していなかったトラブルに見舞われ非常に苦労します。そのリカバーシナリオを実現し、設計どおりに装置を動かしたときの達成感が大きいのもソフト設計ならではのです。

製造・検査

(技術系)

組立の仕事は、一つひとつの部品を組み上げ、最終的にお客様が望む仕様に仕上げていくことです。アルバックの装置は、1 台数億円という装置も多く、ほとんどがお客様のニーズに合わせた特注品。そのため、製造の仕事も単純な流れ作業ではなく、技術的な知識や経験に加え、交渉力、企画力なども必要とされます。組立後は、お客様の求める仕様どおりのものができているか、連続稼動しても性能が維持できるかなど、実際に装置を動かして検査します。装置は、一度社内で組立、検査をしてからお客様の工場で再組立・再検査します。そのままではトレーラーに乗せられないくらい大きな装置は、ユニットごとに一度分解してから積み込みます。現場で最新のプロセス技術の知識を得られること、要望通りに装置が完成しお客様から喜ばれた時の達成感は、製造・検査の仕事ならではのやりがいです。

営業

(技術系・事務系)

アルバックの売上は海外を中心に伸長しており、国内はもとよりグローバルの営業が重要となっています。営業は様々な製品で世界トップレベルのシェアを誇るアルバックが更に飛躍する為に販売を行う仕事です。営業担当者は様々なものづくりに応用可能な真空技術を武器に、今後ますます拡大するマーケットの開拓者として、アルバック製品を広めていきます。営業は直接顧客提案を行なうことでその展開に寄与、グローバルに挑戦できる環境でスキルを磨くことができる仕事です。

経理・財務

(事務系)

経理の仕事といえば伝票処理、現預金取り扱いなどをイメージされると思いますが、実はこのような業務だけではありません。全社予算管理、原価管理・予測管理、決算手続き、開示資料作成、税務及び国際税務対応、国内及び各国監査対応、全世界の子会社会計税務及び内部統制構築支援など非常に活躍の範囲が広いことが特徴です。業務を通じ知識を増やし、スキルアップしていくことができる職場です。

財務は、事業内容によって生じる資金の収支を予測し、資金効率を勘案の上、資金が不足すれば調達を、余れば運用を行うのが主たる業務です。

総務

(事務系)

総務部では、当社のステークホルダーとなる 1.従業員 2.お客様 3.株主 4.地域住民、へ向けたサービスの向上に日々取り組んでいます。多種多様な業務を担当していますが、具体的な仕事内容としては、まず従業員が安心して業務に従事するための、受付や警備、清掃などの各種社内サービスの統括、各種備品の手配や庶務業務、社内の式典や、各種行事の運営などが挙げられます。株主に向けた会社の最大のイベントである株主総会運営も総務部が中心となって行います。その他、地域貢献活動も総務部の重要な業務です。地域の小学校での真空実験、地元の休耕田を利用しての稲作や海岸清掃等も行っています。事務仕事以外に体を動かすことも多く、「アルバックの顔」として社内外の壁を越えて様々な舞台に登場するのが総務部です。

人事

(事務系)

まさにみなさんのような会社の将来を担う若い人材を採用すること、先輩社員たちが積み上げてきた技術や経験を継承するための教育を行うことなど、事業の継続を人材の面から考えて仕事をするのが人事部です。従業員の仕事ぶり、努力を適正に評価することで、成長を促していくことが人事の大切な役割です。また、全社員の給与計算、福利厚生の管理、労務管理も人事部の仕事です。従業員が働きやすい環境を労使の面から整備をしていくという重要な役割を担っています。

事業部管理

(事務系)

事業部における管理部門の仕事であり、2つの業務が中心です。

- 1.原価管理は、事業部の損益管理、予算管理、人員管理など、事業部長を補佐する部門です。自部署内の取りまとめ、本社部門とのパイプ役から庶務業務まで幅広い業務を行います。
- 2.工程管理は、プロジェクトごとの製造工程を管理する部門です。装置納期、部品納期、支給品納期・管理、人員負荷調整を行います。